

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年3月6日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670200544
法人名	有限会社 川内介護福祉会
事業所名	グループホーム 川内森の里
所在地	鹿児島県薩摩川内市中郷町6956番地49 (電話) 0996-27-6568
自己評価作成日	令和4年12月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年2月24日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・新型コロナの影響でさまざまな行事や面会が制限される中、小規模な施設での強みを生かした取り組みを感染状況を踏まえながら家族の協力の元実施している。また、利用者様一人ひとりのADLやできることの把握を行い役割を持ち生活ができるような支援に努めている。排泄ケアの向上にも力を入れ入所時はオムツ使用だった方も排泄パターンの把握行い日中ではできるだけ布パンツ使用に変更することで排泄の機能向上に努めている。また食事も色々な季節の食材を使い、旬のものを食べることにより季節を感じられるよう工夫している。

・当事業所はコロナ禍で、地域行事を含め様々な行事の自粛の中で、状況を見ながら地域からの声掛けによる生き生きサロンへの参加や地域の農業クラブに参加して、野菜の交換や差し入れ、クラブでの当ホームの広報活動も行い、託児所からの手づくり作品を頂くなど、地域との交流を大切にしている。

・職員により、個々の利用者のADL向上やできることの役割を見つけ、生きがいのある活動を行っている。

・家族の面会は自粛しながらもその時の状況に合わせて柔軟に面会環境を変え、毎月の「森の里便り」を送付するとき、現状を報告し、日常の写真を添付して少しでも家族や利用者が満足し関係性を継続できるように取り組んでいる。

・職員は自立に向けた排泄支援に取り組み、リハビリパンツから布パンツに改善された利用者もいて、残存能力の維持向上と生活の質の向上を目指している。

・管理者は職員の職場環境に気を配り、働きやすい環境づくりに取り組み、職員関係も良好で離職率が低い。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をホールや事務所内目につく所に掲示し申し送りや会議などの際には全員で意識付けを行い理念を共有できるようにしている。	理念をパンフレットに掲載し、ホールや事務所に掲示、申し送りやケース会議時に唱和している。全職員が理念を共有しサービスに繋げている。利用者も自然に読み上げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	・自治体に加入している。新型コロナの影響により生き生きサロンや行事の参加は中止が続いているが、地域との交流が途絶えないよう交流を続けており、コロナが終息した際は実地できるような体制に努めている。	自治会に加入しているが、コロナ禍で、地域行事のほとんどが自粛となっている。地域からの声掛けで「生き生きサロン」に参加したり、職員が地域の農業クラブに参加して、交流を図り、ホームの広報活動も行っている。託児所の幼児から手づくり作品を頂くなど、交流継続に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・新型コロナの影響で、地域の行事参加が中止となり地域貢献を生かせる場が少ないが、コロナ禍でも見学の継続などできる範囲での相談を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・新型コロナの影響で、運営推進会議を书面での開催。自治会長、民生委員とは個別報告で書面を送り連絡を取り情報の共有に努めている。</p>	<p>コロナ禍で今季は1回のみでの開催で、他は書面会議とした。委員へ資料を持参時にコロナ禍での取り組みを報告し意見交換している。委員から少子高齢化の話題で地域の独居高齢者や高齢者のいる家族への声掛けなどのアドバイスを得て、情報の共有とともに運営に反映している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>・介護保険サービスの変更時の相談や新型コロナの対応等、わからないことがあれば相談し助言を得たり協力を頂いている。</p>	<p>市担当者とは運営推進会議の出席依頼や資料等の持参時に意見交換し、法令の変更時やコロナ対策の助言をもらい、市の身体拘束廃止の研修をリモート会議で参加するなど、連携を密に協力関係が構築されている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・身体拘束の研修WEB参加や事業所内での身体拘束研修などを実施し日頃から身体拘束につながる不適切なケアや利用者様に与える弊害を理解できる機会を設けて意識付けを行っている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を年4回開催し、身体拘束の研修はオンライン会議で事例を挙げて行っている。年2回内部研修会も実施し、全職員が拘束の禁止となる具体的な行為を正しく理解している。言葉の拘束や玄関の施錠を含め拘束のないケアに取り組んでいる。外出希望者には職員が同行し見守っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・身体拘束や虐待の研修への参加の促しや不適切なケアがないかケアの振り返りを行い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	・以前は、社会福祉協議会の権利擁護課の方に依頼し研修をしていたがコロナ禍となり、現在は行えずにいるが今後感染状況をみながら機会を設けたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	・入所時の契約の際に利用者様、御家族へ丁寧な説明を心がけ同意を得て契約をしている。また選択をする場面においても再度説明を行い本人、御家族の意向を伺い特にトラブルなく行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	・新型コロナの影響で面会や家族会の中止等が続いている中、個別で利用者様の希望やご家族の希望がサービスに反映できるようアンケートの実施や連絡(電話やライン)の活用を実施している。	利用者からは日々の会話の中や個人的にも要望を聞いている。家族には便りを送付するとき、一筆書いたり写真なども添えて郵送し、電話や面会時に思いを聞き運営に反映している。要望により、窓越し面会や事務所での面会を実施し、受診時に家族と医療機関で面会したり、個別遠足や家族と外食している。アンケートも実施し、ラインの活用なども勧めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・職員の意見や提案、相談事を個別に対応できるよう対応している。意見に迅速に対応できるよう情報の共有を図っている。</p>	<p>管理者は申し送りやケース会議で意見を聞き、迅速に対応し、情報を共有している。定例会も月1回開催している。働きやすい職場環境を目指し、職員間の情報伝達はラインを活用している。個別相談は随時代表者・管理者が対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・代表者は職員の努力や実態勤務状況等把握し、職員の希望などを取り入れながら職場環境整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・新型コロナの影響で研修の機会がすくなくなったが施設内の研修やWEB研修の参加できるよう努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・北薩地区のGH協議会へ入会し研修会の参加など積極的に行い情報の共有や交流を継続しサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・本人の困り事や不安な事、要望やできる事や得意な事を聞き取り他利用者様の協力やスタッフが関わり安心できる居場所を提供できるよう信頼関係の構築に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・入所前に御家族の困りごとや不安な事、要望や御家族が支援して頂ける事を確認しながら利用者様と一緒に支援して頂けるよう信頼関係の構築に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・本人様とご家族様の「その時」の思いを聞き取りできる必要としている支援に反映できるよう支援している。その先の事も事前に確認し対応できるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・例えば、新型コロナウイルスの感染予防の消毒の役割や環境整備の際は職員と一緒に掃除をしたり生活する上で協力して頂ける機会を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>・御家族様にしかできない支援も多く、コロナ禍ではあるが本人様が必要としている場合は御家族に相談しできる限りの面会や電話連絡等無理のない範囲で協力を得て支援して頂いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>・個別で自宅帰省の機会を設けたり、周辺症状のある利用者様に対してはコロナ禍でも家族との面会ができる機会を病院と協力し確保している。</p>	<p>コロナ禍であるが、面会の希望は窓越し面会や事務所での面会を実施している。毎月の便りの送付時に近況とともに写真も添付して、個別遠足をしたりドライブ途中で自宅に寄ったり、家族と受診後に墓参りに行くこともあり、関係継続に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>・利用者様一人ひとりの日常的な会話の様子や言動から関係性を把握し利用者様同士が心地よい関わりができるよう対応している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>・退所後も近くに寄られた際は立ち寄られる御家族様や、施設以外でお会いした場合は話を伺い退所後であっても関係性を大切にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・個別での支援時(入浴介助)やリラックスしている際に利用者様の思いや希望を聞き取り、できるだけ希望を実現できるような機会を設けている。	日常の会話や入浴時・レクリエーション等の個別ケア時や夜間等に思いや希望を聞いている。困難な場合はしぐさや顔の表情から把握し家族の意見も聞き、これまでの関わりの中から、本人中心の支援を検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入所時の情報提供資料や面談時の聞き取りなど行いどのような環境で生活をされてきたのか背景を把握できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・一日の過ごし方や、その日の体調や意欲に合わせて声かけ行い本人様の意向に沿えるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・コロナ禍での制限がある中で本人や家族の思いを実現できるよう必要な関係者と相談し個別での支援をできるよう工夫し介護計画を作成している。	更新や状態変化があるときなど職員から聞き取りしたり日常の記録など見て課題分析をして全職員で話し合い、主治医や家族の意向も入れながら介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月毎や必要時に行っている。見直しは6ヶ月に1回または状況変化時に行い、現状に即した介護計画となっている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・本人様が最近よく言われる言葉や思いを記録に残し、職員間で情報を共有し対応を実践してからの様子などを介護支援記録に残し今後の課題につなげられるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・本人様だけではなく、家族の生活様式の変化や体調なども考慮し、職員が御家族の自宅へ送迎したり出向き対応したり柔軟に御家族の課題にも対応できるよう支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・新型コロナの感染状況を見ながら地域のイベント(はんや祭り)に参加した。今後も状況を見ながら実施したい。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・本人様やご家族の希望を把握し入所時に確認している。歯科や整形外科等、他科受診になった場合も病院希望なども事前に確認し希望に合う適切な医療を受けられるよう支援している。	入所時にかかりつけ医を確認して支援している。協力医やかかりつけ医の月1回往診もあり、受診は家族または職員が同行している。受診や往診後は家族に連絡報告し、情報を共有し医療を受けられるよう支援している。看護職員による日常健康管理も行い、緊急時はかかりつけ医の指示により対応し、24時間医療連携体制も整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・介護職員は、利用者様の体調や変化の気づきを看護職員へ伝えたり申し送り適切な受診や看護を受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・入院中、周辺症状や不穏が出現した場合は体調が安定していれば主治医と相談の上で早期に受け入れ協力体制づくりに努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・契約時に重度化や終末期に伴う指針を説明し、同意を得ている。また重度化した場合、主治医や御家族と話し合い施設でできることやできないことを伝え今後の課題について協議し取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期の指針がある。契約の時に同意書を貰っている。家族や主治医と話し合い、早い段階で医療機関や特別養護老人ホームを紹介している。ホームでできること、できないことを説明し、今後の課題について協議し、本人家族の希望する支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・新しい職員なども急変時や事故の対応等迅速に対応ができる機会を設け誰でも対応可能になるよう努めたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・火災訓練は日勤帯と夜間帯の訓練を実施している。また地震や水害別にマニュアル化している。特に水害については立地状況から被害がどのような想定を行い雨季前に毎年避難訓練を実施している。自治会長や民生委員、隣接会社へは毎年災害時の協力を依頼している。</p>	<p>年1回消防署の指導の下、もう1回は自主避難訓練を行っていたが、コロナ禍で内部のみの自主訓練を行い、水害については雨季前に毎年避難訓練をしている。自治会長や民生委員、近隣会社には災害時の協力をお願いし、災害時の地元住民の受け入れ場所にもなっている。備蓄は米・水・インスタントラーメン・レトルト食品・缶詰・菓子等を3日分ぐらい準備している。避難場所は災害の種類によって決めている。原発については市の放送に従うようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>・一人ひとりの人格を尊重し言葉かけに配慮している。言葉かけ工夫しながら信頼関係を構築しケアがスムーズに行えるよう配慮している。</p>	<p>内部研修やケース会議などで勉強会を行っている。言葉かけにも配慮して優しく丁寧に支援している。同性介助をできるだけ行っている。本人が「自分は役に立っている」という心を大切にしている。排泄・入浴時の羞恥心に配慮し、入室時の声掛けをしている。呼称はさん付けで、申し送りは事務所で行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>・個別介助時のスタッフとの会話で聞かれた言葉や思いを記録に残したり、自己決定できるよう選択肢を用意し働きかけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・体調や気分の確認を行い無理強いせず柔軟に対応できるよう心がけている。塗り絵をしたり運動をしたりパズルをしたり一人ひとり違う過ごし方をされている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>・化粧水の購入や身だしなみの為の必要物品等も使用できる環境を整えている。定期的に美容院のヘルパーも依頼し整容が保てるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・畑での野菜作りや旬の食材を生かした料理、行事食など提供している。</p>	<p>畑の野菜を使用したり、季節を感じられる食材で職員が調理している。嗜好調査を時々行っている。おせちは外注しひな祭りは弁当を取って、楽しんでいる。食器洗いや台拭き等のできることを一緒にしている。口腔体操や口腔ケアは毎日行っている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・食事量や水分摂取量など記録に残し一人ひとり把握している。とろみの使用や好みを考慮しお茶以外の提供などの工夫行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・できるだけ自己にて口腔ケアを促しているが、出来ない部分は介助し口腔内のトラブルが発生した場合は歯科往診依頼し対応している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>・入所前はオムツを使用していた方でも排泄パターンを把握し少しずつトイレでの排泄が間に合うように誘導したりリハビリパンツ→布パンツに移行できる方が多い。</p>	<p>チェック表により個々の排泄パターンを把握し、日中の基本はトイレ排泄である。声掛けの工夫により、オムツの使用も自立に向けてトイレ誘導をすることで少なくなっている。リハビリパンツから布パンツに改善したり自立した事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・便秘の改善の為に、水分摂取の促しや運動など働き掛けできるだけ便秘にならないような工夫をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・基本的には週2回午前中の中入浴を実施しているが、拒否など聞かれた場合は清拭や延期し翌日に声かけするなどして清潔を保てるよう支援している。	基本的には週2回午前中入浴である。シャワー浴も対応している。同性介助の希望があれば希望通りしている。ゆずやボンタンなどを浮かべ楽しめるようにしている。拒否の場合は声掛けの工夫や時間を調整して行っている。体調や機嫌によりできないときは清拭や翌日に行うこともある。無理強いはしていない。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・一人ひとりの体調や気分に応じて休息できるよう声かけしたり前日の夜間の睡眠状況なども把握し対応している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・職員一人ひとりが責任を持ち服薬介助二重チェック等行っている。処方の変更があった場合は必ず申し送りを行い把握に努め往診等の際に主治医へ報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・現役時代人前でよく司会などをされていた方には敬老会での利用者代表挨拶をして頂いたり、自宅でよく好んで食べていたものを御家族が持参した場合は個別で提供したり、できるだけ希望にそえるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・新型コロナの影響で外出も限られてはいるが感染状況を踏まえながら個別遠足を実施。一人ひとりの希望にできるだけ沿えるようお墓参りや自宅への帰省など御家族の協力のもと実施した。	コロナ禍で行事での外出は自粛している。散歩は職員が同行し、玄関前の畑の野菜収穫等は戸外に出て楽しんでいる。庭の梅や桜の花見を行いお茶をしている。個別に遠足を実施し、自宅付近をドライブしたり、希望を聞きながら墓参りも家族の協力で実施している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・個別遠足ではお小遣いで好きなものを購入できる機会を設けている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	・コロナ禍になってからは特に連絡手段として手紙や電話での連絡がとれるよう対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・季節感のある壁面工作或季節を感じられるような花などを飾り季節がわかりやすいよう工夫している。日当たりや室温調整など換気にも注意しながら心地よい空間になるよう声かけ確認しながら工夫している。	リビングやトイレ・浴室などが木造づくりで森林の香りがする。日当たりがよく高台で季節ごとの景色を眺められる。換気や温度・湿度の調整も空気清浄機や加湿器で環境を整えている。壁に利用者との共同作品や外出時の写真が飾られている。居心地の良い空間である。台所は対面で利用者と会話しながら調理をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・ソファを配置し、ゆっくりテレビを見たり他利用者様とはなしをできる空間を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入所前は、できるだけなじみの物を持ち込んで頂いたり家族の写真飾ったり安心できる空間作りを心がけている。	全室が洋室でエアコン・ベッド・箆笥が設置され、寝具はリースである。加湿器や空気清浄機も必要に応じて持ち込み、本人の馴染みのある毛布や化粧品・家族写真・小物・湯飲み・タオル・テーブル・椅子を置き、ぬいぐるみや本人の作品等を飾り、居心地よく安心して暮らせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・手すりでは立位訓練をしたり、パズルの得意な方はすぐに手が届く位置に置きたいときに手を伸ばしてされている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない